

における損害賠償責任の追及の見直しを行い、職員等が必要以上の心理的負担を受けず、公正に職務を執行することが可能となるよう、条例を制定するもの。

予算

◎令和7年度白石市一般会計補正予算(第3号)

4億6058万4千円を増額し、予算総額を199億1171万5千円とする。

○妊婦のための支援給付費

4500万円

○緊急自然災害防止対策事業

(土木費) 6200万円

○学びの多様化学校等管理運営費

11万1千円

【質疑】妊婦のための支援給付について事業の詳細は。

【答弁】妊娠期からの切れ目ない支援を行う観点から、子ども子育て支援法の妊婦のための支援給付を実施することにより、妊婦等の身体的、精神的ケアおよび経済的支援をしている。

対象者は申請時点で市内に住所を有する妊婦で、妊婦給付認

定(※)を受けた方になる。給付は2回あり、1回目は妊娠届出時に申請書を提出し、妊婦給付認定を受けることで5万円を支給し、2回目は出産予定日の8週間前の日以降に胎児数を届け出て、胎児1人あたり5万円を支給している。今回の支援は、令和7年4月1日から令和8年3月31日までに、妊婦のための支援給付(1回目)の対象者に5万円を追加給付するものである。

【質疑】緊急自然災害防止対策事業(土木費)について、市道陣場ヶ丘4号線および市道鎌先街道線における法面対策工事の詳細は。

【答弁】これまでの大雨の影響等により倒木や法面の崩落が発生しているため、災害防止対策として「コンクリート吹付法枠工」による法面保護工を実施する。受注業者が決まり次第工程を協議し、地元自治会等とも相談しながら年度内完成を目標に実施する。

【質疑】白石きぼう学園「おしごと探検隊in白石」について、職業体験の目的は。

【答弁】学校内外での豊かな体験活動の機会を確保するため、児

童生徒の興味や関心に基づいた探究活動に取り組んでいる。本事業は保護者や地域住民、学識経験者などで構成する白石きぼう学園の学校運営協議会が中心となり企画した「社会との接点」を意識した職業体験イベントである。児童生徒が地域産業や仕事に直接触れ、職業体験を通して働くことの意義や楽しさ、そして地域への愛着を育むことを目的としている。



【※】妊婦給付認定とは？

妊婦のための支援給付を受ける資格を有することについての認定を申請し、その認定を受けること。

◎令和7年度白石市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

3756万2千円を増額し、予算総額を37億2406万円とする。

○子ども子育て支援事業関連

業務委託料

540万1千円

【質疑】子ども子育て支援事業に関連した業務委託料の支出について、制度的根拠と委託業務内容の詳細は。

【答弁】令和5年12月22日閣議決定した「こども未来戦略」において、総額3兆6000億円規模に及ぶ「こども子育て支援加速化プラン」が取りまとめられた。その後、子育て支援金制度の創設を含む「子ども子育て支援法等」の一部を改正する法律が令和6年6月5日に可決・成立し、児童手当の拡充をはじめとする抜本的な給付拡充の財源の一部に「子ども子育て支援金」が充てられることとなり、少子化対策の特定財源3兆6000億円のうち1兆円程度を確保することが見込まれている。子ども子育て支援金制度は全世代・全経済主体から医療保険料と併せて所得に応じて拠出することとされ、令和8年度から令和10年度にかけて段階的に導入される。

るため、国民健康保険システムおよび収納管理システムの改修プログラムのパッケージ費用のほか、現行システムへの影響度調査や設定、管理作業にあたる人件費を計上している。なおシステム改修費用は子ども子育て支援事業費補助金として、国から全額措置されることとなっている。

決算

◎令和6年度白石市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について

◎令和6年度白石市水道事業会計利益の処分及び決算の認定並びに白石市下水道事業会計決算の認定について

◎令和6年度白石市病院事業会計決算の認定について

総括質疑

◎令和6年度白石市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について